

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）
「難治性疾患及び希少疾患研究領域の国際情報発信基盤の構築とその強化に関する取組」
（課題番号：252015）

学術団体名：特定非営利活動法人 バイオ&ソーシャルサイエンス推進国際研究交流会
学術刊行物の名称：Intractable & Rare Diseases Research
事業期間：平成25年度～平成29年度

1 取組の概要

難治性疾患は、その原因が不明で有効な治療法がない疾患である。その克服を目的とした研究は重要かつ意義深い、研究の発表が限定的かつ小規模な領域でのみ実施されている現状がある。当団体では、学術誌「Intractable & Rare Diseases Research」を刊行し、難治性及び希少疾患研究の知見を集約して研究者間の交流を活性化することによって、この研究領域の発展及び疾患の克服の達成に貢献することを目的としている。

本取組では、難治性疾患研究領域における国際的な情報発信基盤の構築と強化を目的として、主に3つの目標を達成する計画である（図1）。1. 有効性の高い研究成果を発信する学術誌の刊行では、編集委員の強化とレフェリーの国際化により論文の引用数の増加を図る。2. 国際的データベースへの登録承認では、多くの研究者らに利用されるPubMedなどのデータベースへの採録を達成することにより、国際的情報発信力の飛躍的な向上を図る。3. Science Citation Index (SCI) への登録、インパクトファクターの付与では、掲載論文の引用数から算出される公式的なインパクトファクターの付与を達成する。これらの活動を通して、国内外の研究者の交流を活性化し、国際的情報発信ネットワークの基盤を構築することを目標とする。

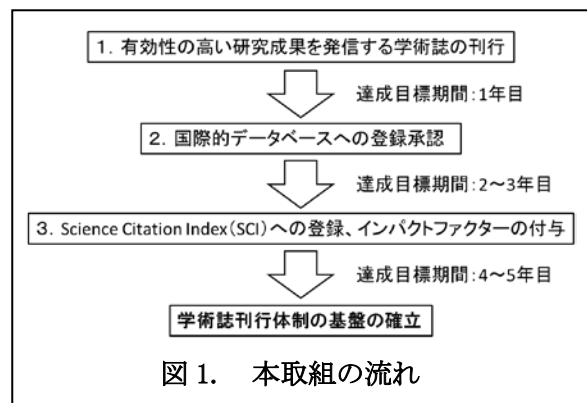


図1. 本取組の流れ

2 目標の達成状況

現在までの取組では、有意義な研究成果の発信を目的とした学術誌刊行体制の確立、各研究論文の閲覧者の増加を目的とした学術誌の国際的データベースへの登録承認に向けた活動を実施した。まず、学術誌刊行の体制の確立では、論文の査読システムを構築し、ホームページを作製して情報を公開する体制を整えた（図2）。続いて、世界的に非常に多くの研究者が利用する国際的データベースへの採録を目的とした活動の結果、PubMed centralへの登録承認を達成した。現時点で、当該学術誌に掲載されたすべての論文について、PubMedでの検索や要約の閲覧、リンクを経由したフルテキストのダウンロードが無料で可能となっている。さらに、国立研究開発法人 科学技術振興機構によって統括されているJ-STAGEへの採録も達成し、日本国内における研究者からのアクセスがより簡便になったほか、海外の様々なデータベースとの相互リンクが形成された。



図2. ホームページ

今後の計画としては、Science Citation Index (SCI) への登録申請を実施する。これが達成されると、上述したImpact factorが付与され、国際的な学術誌として高い信頼性を得ることができる。そして、学術誌としての有用性を向上させることを目的として、これまでに構築した厳格な査読システムに基づいて質の高い研究成果の発信を継続的に実施し、付与されたImpact factorの向上を目指す。